

8月は「電気使用安全月間」です!

主唱:経済産業省

期間

8/1~8/31

電気は生活の様々な場面で利用されていますが、使用方法を誤ると大変な事故につながります。特に夏は高温多湿により、感電や電気事故などが発生しやすいため、安全運動を通して安全知識の向上や電気事故防止に取り組みましょう。

参考:「電気使用安全月間」(政府広報オンライン) (https://www.gov-online.go.jp/data_room/calendar/202608/event-4402.html) を加工して作成

感電災害の発生状況(速報値)

■業種別死亡災害

参考:「職場のあんぜんサイト」(厚生労働省) (<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/sokuhou.html>) を加工して作成

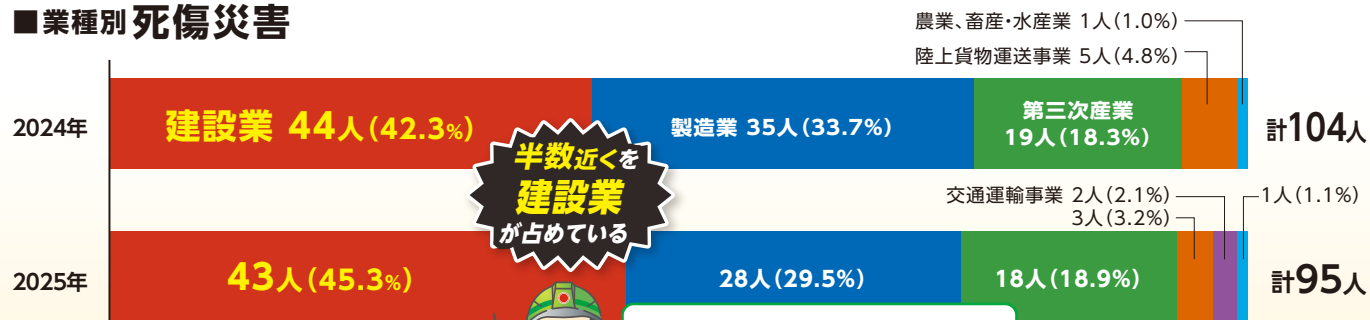


※割合(%)の合計は端数処理上100%にならない場合があります。
※新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。



全産業合計・建設業ともに前年に比べ人数は減ったものの、建設業が占める割合は依然高いまどとなっています。

■業種別死傷災害



※割合(%)の合計は端数処理上100%にならない場合があります。
※新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。



全産業合計・建設業ともに前年に比べ人数は減ったものの、建設業が占める割合は増加しました。

安全ニュースVol.284(2025年8月号)で

感電による人体への影響と応急処置例をご紹介します▶

https://www.rental.co.jp/topics/pdf/2025_284.pdf



check!

作業前に電気主任技術者へ連絡を!

電気に関連しない工事でも、電気主任技術者に連絡しなかったことで事故に至ったケースが見られます。安全に工事を行うためにも、電気設備やその付近で作業を行う場合は、必ず電気主任技術者に連絡しましょう。

参考:「感電に注意!作業前は電気主任技術者へ連絡を!」(経済産業省) (https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2025/06/chirashi_syuningijutusya.pdf) を加工して作成



レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン

検索



安全ニュースのご活用についてお願い

弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでいます。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複製・貸貸・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式 情報発信中!



フォロー
宜しく
願います!



安全ニュースで取り上げて欲しい題材や
ご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください

e-mail : nikken@rental.co.jp

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

レンタルのニッケン

お客様の安全作業のために。



安全ニュース

Safety news

目次

特集 防災週間準備期間

- 竜巻、ダウンバースト・ガストフロントの発生確認数
- 竜巻などの激しい突風について
- 強風による足場の倒壊について
- 感電災害の発生状況(速報値)

2026年
9月号の予告

全国労働
衛生週間

2026年

8月号

No.296

編集・発行

株式会社レンタルのニッケン
安全部/営業支援部

お問い合わせ

TEL.03-6775-7811

8月30日~9月5日は「防災週間」です!

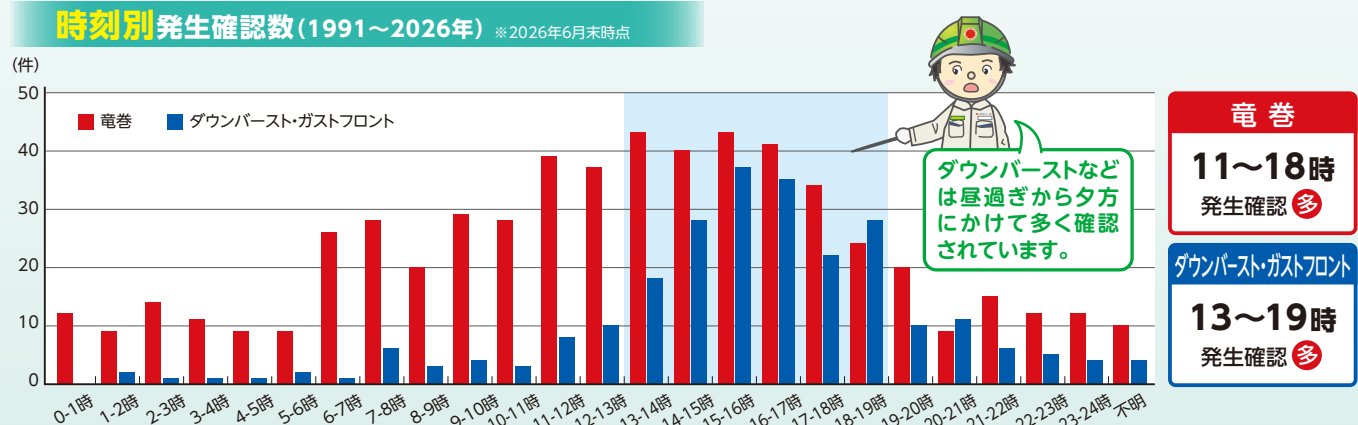
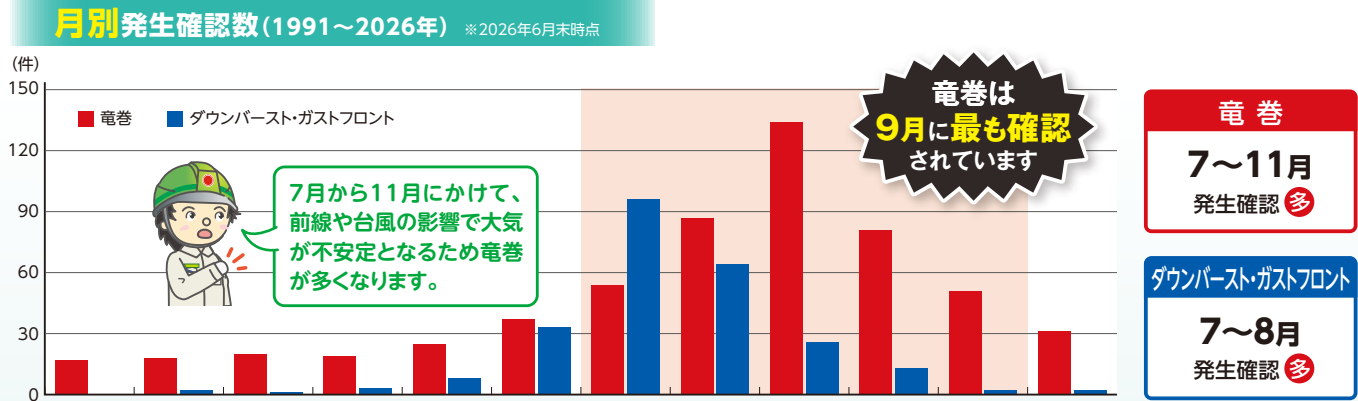
日本は台風や竜巻、地震等による災害が発生しやすい国土となっています。災害を未然に防ぎ、被害の軽減を図るために、一人ひとりの防災意識を高め、日頃から災害に対して備えをしましょう。

参考:「防災週間」(政府広報オンライン) (https://www.gov-online.go.jp/data_room/calendar/202608/event-4396.html) を加工して作成

9月1日は
防災の日

竜巻、ダウンバースト・ガストフロントの発生確認数

参考:「竜巻等の突風データベース」(国土交通省気象庁) (<https://www.data.jma.go.jp/stats/data/bosai/tornado/index.html>) を加工して作成



竜巻被害の特徴

参考:「竜巻では、どのような災害が起こるのか」(首相官邸ホームページ) (<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/tatsumaki.html>) を加工して作成

- 短時間・局所的に甚大な被害をもたらす
- 建物が倒れたり、車がひっくり返ることがある
- 様々なものが竜巻に巻き上げられ、猛スピードで飛んでくる



被害状況

★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

竜巻などの激しい突風について

参考：「竜巻などの激しい突風とは」(国土交通省気象庁) (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/tornado1-1.html>)を加工して作成

主な突風の種類

発達した積乱雲からは竜巻、ダウンバースト、ガストフロントといった激しい突風をもたらす現象が発生します。今回は主な突風の種類についてご紹介します。

竜巻

積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗状または柱状の雲を伴います。

ダウンバースト

積乱雲から吹き降ろす下降気流が地表に衝突して水平に吹き出す激しい空気の流れです。

ガストフロント

積乱雲の下で形成された冷たい空気の塊が、その重みにより温かい空気の側に流れ出すことによって発生します。

参考：「竜巻では、どのような災害が起こるのか」(首相官邸ホームページ) (<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/tatsumaki.html>)を加工して作成

竜巻が間近に迫ったら…

竜巻が発生したときには、建物などの被害は防げませんが身の安全を守ることができます。竜巻の移動スピードは非常に速いため、竜巻を見ても写真や動画を撮影したりせず、ただちに以下のように身を守る行動を取りましょう。

屋外では

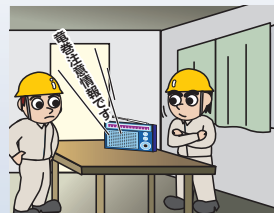
- 近くの頑丈な建物に避難するか頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 物置や車庫、プレハブ(仮設建築物)の中は危険なので避難場所にしない。

屋内では

- 雨戸や窓、カーテンを閉め、1階の窓のない部屋に移動する。
- 丈夫な机やテーブルの下に入り、身を小さくして頭を守る。

普段から心がけること

- 竜巻注意情報等の情報の入手手段を調べておく。
- 屋内外の避難場所・避難方法を考えておく。



竜巻ナウキャスト

参考：「気象防災速報(竜巻注意／竜巻目撃)・竜巻ナウキャスト」(国土交通省気象庁) (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/tatsumaki.html>)
「竜巻ナウキャストとは」(国土交通省気象庁) (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/tornado3-1.html>)を加工して作成

竜巻ナウキャストは、10km四方の領域ごとに竜巻等の発生しやすい解析結果を提供する情報です。気象防災速報(竜巻注意／竜巻目撃)が発表された際に**竜巻等の発生する可能性が高まっている領域等**を確認できます。

現在発表中の竜巻ナウキャストはこちら。



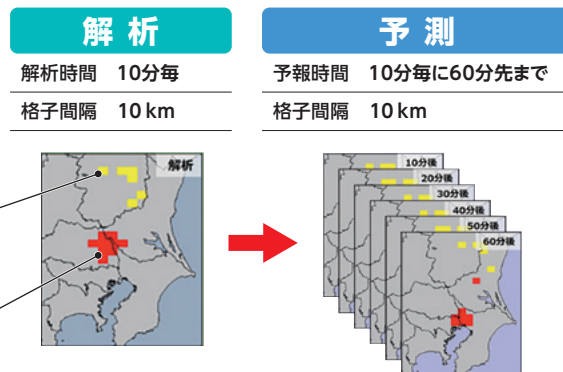
竜巻ナウキャスト(国土交通省気象庁)

発生確度
1

竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。

発生確度
2

竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり注意が必要である。

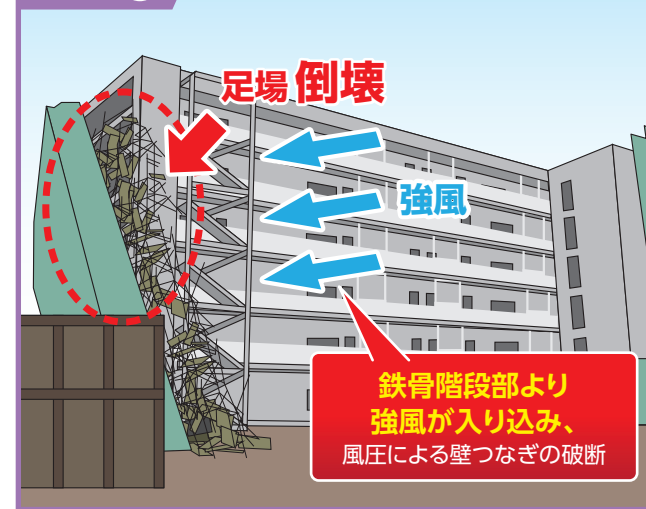


強風による足場の倒壊について

参考：「台風等の強風による足場倒壊対応について」(国土交通省) (<https://www.japan-grout.jp/info-gov/pdf/h31/r01-10-01-02.pdf>)を加工して作成

足場倒壊事例

事例①

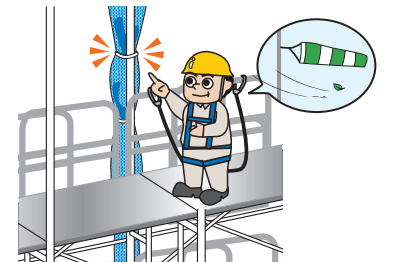
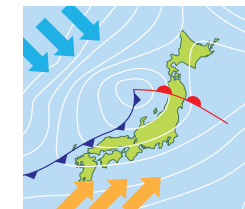


事例②



主な足場の強風対策

- 常に気象情報を確認する
- シート、防音パネル等、風荷重が大きくなる養生材は撤去・巻きあげを行う
- 壁つなぎに十分な補強を行う
- 端部に開口がある場合、風が吹き込み、内側から外へ押し倒す力が作用するので開口部をふさぎ、補強の控え材を設ける
- 金具等の緩み、変形がないか点検を行う
- 強風時は作業を中止する
- 倒壊の予兆が見られる場合や発生した場合は、速やかに警察・道路管理者等に連絡し、通行止措置を要請する



トピックス Topics

2026年
5月29日より

気象の警報などが大きく変わりました

河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等は、これまで警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応したことで、避難の判断がしやすくなりました。

警戒レベルの詳細等は右記のQRコードよりご確認ください。

新たな防災気象情報について(令和8年～)(国土交通省気象庁)



	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

参考：「新たな防災気象情報について(令和8年～)」(国土交通省気象庁) (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>)を加工して作成